

# 数学

## <全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	5題
------	------	-------	----

### 解答形式

全問記述式

### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・**やや減少**・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・**やや易化**・変化なし・やや難化・難化)

例年、誘導の付かない問題が出題されるが、今年度は5題中4題が誘導なしである。分量は昨年よりも減少したため得点しやすくなったものの、方針が立てにくい問題も多いので、大幅に易しくなったとは言えないだろう。

### 出題の特徴や昨年との変更点

幅広い分野から万遍無く出題され、レベルが高い。整数と確率は例年出題され、空間図形の問題も出題頻度が高い。

### その他トピックス

特になし

## <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	整数	数学A	絶対値をはずすと、2タイプの2次の不定方程式になる。今回の中では典型的な問題。	標準
2	数列	数学B	3項間漸化式で定められた数列について、初めて10の2026乗よりも大きくなる項の項数を求める。実験して一般項を推測する。あるいは、対数をとって積を和の形に直すと、解けるタイプの3項間漸化式になる。	標準
3	微分法 図形と方程式	数学II	極値を与えるx座標が動くとき、3次関数の極大点と極小点を結んだ直線の傾きの値域を求める。今回の中では解きやすいので、完答したい。	標準
4	空間ベクトル	数学C	平面による立方体の切り口をまず把握し (この把握が慣れてないと厳しいかもしれない)、その切り口を底面とする多角錐の体積を求める。	やや難
5	確率	数学A	4本のひもの計8つの端を2つずつ結ぶ。このときにできる輪の本数Nに関する確率。また、Nの期待値を求める。(1)は解きたい。	やや難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

一橋大の問題はシンプルなものが多いが、誘導が少ない分、確かな実力が必要である。典型的な問題を理解しマスターしたうえで、過去問の演習によって思考力・計算力も鍛えよう。また、かなり難しめの問題も出題される。初見の問題に対しても方針を立てられるようになるために、良問を考え抜く勉強もしたい。